

平成26年度 社会福祉法人川俣町社会福祉協議会事業報告書

事業名	事業の内容
1. 低所得世帯の援護対策	<p>低所得世帯に対する小口の援助資金貸付事業を行うなど、その困窮を助け自立更正を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活援助資金貸付 10件 435,000円 ・高額療養費貸付 0件 0円 ・出産資金貸付 0件 0円 ・生活福祉資金貸付 1件 100,000円
2. 高齢者福祉対策の推進並びに老人福祉センターの運営	<p>介護保険非該当高齢者に対しては、ホームヘルプサービス事業・デイサービス事業を実施した。</p> <p>また、介護保険に該当しており、ホームヘルプサービスを利用している低所得世帯に対しては、援護措置として訪問介護サービス利用者助成金を交付した。</p> <p>ねたきり高齢者を抱えた家族への援護措置として激励金を支給したり、リフレッシュ事業を開催した。</p> <p>一人ぐらし高齢者へは、つどいや料理講習会を開催した。</p> <p>シニアボランティア活動による友愛訪問事業へは、助成金を交付した。</p> <p>在宅要援護高齢者に対する地域支援システムづくり事業は、町内にふれあい相談員を58名配置して研修会を開催した。</p> <p>高齢者の健康と生きがいづくりを目的に活動を行う老人クラブには、運営費の援助を行った。</p> <p>老人福祉センター「いきいき荘」は、老人憩いの場としての利用を高めた。なお、福祉活動の増進を図るために老人福祉センター利用者の無料送迎（月2回）及び福祉団体・ボランティア団体の活動に対して福祉バスを運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者自立支援ホームヘルプサービス 22名 914時間 ・高齢者生きがい活動支援デイサービス 延1,048名 ・訪問介護サービス利用者助成金交付 延15件 44,590円 ・ねたきり高齢者介護者激励金支給者数 192名 960,000円 ・介護者リフレッシュ事業参加者数 6名 ・ひとりぐらしのつどい参加者数 62名 ・ひとりぐらしの料理教室参加者数 17名 ・友愛訪問活動助成金交付 150,000円 ・ふれあい相談員研修会出席者数 94名 ・老人クラブ連合会運営費助成金交付 30,000円 ・グラウンドゴルフ大会助成事業 9,260円 ・福祉バス運行回数 74回 乗車延人数1,717名 ・ふれあい健康保持事業 583名 583,000円 ・ふれあいいきいきサロン助成事業 延302件 302,000円 ・ふれあいいきいきサロン代表者交流会参加者数 30名 ・高齢者配食サービス助成事業 登録人数14名 1,135食分 227,000円 ・老人福祉センター利用者数 延8,475名 544,200円 ・日常生活自立支援事業〔あんしんサポート〕 契約者2名 生活支援員2名 利用回数 延25回 ・百歳賀寿祝金贈呈 3名 30,000円

<p>3. 心身障害（児）者及び戦没者遺家族援護対策</p>	<p>身体障がい者タクシー料金の一部助成事業を行った。 心身障害（児）者・戦没者遺家族団体には育成強化を図るため運営費の援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度身体障がい者へタクシー料金一部助成 34件 70,800円 ・身体障がい者福祉会運営費助成金交付 40,000円 ・手をつなぐ親の会運営費助成金交付 10,000円 ・遺族会運営費助成金交付 20,000円
<p>4. ひとり親家庭の福祉対策及び児童青少年の健全育成対策の推進</p>	<p>ひとり親家庭の新入学児童に対し祝金を贈呈した。 また、親子愛を深めるために食事券を給付した。 母子寡婦団体には、育成強化を図るため運営費援助を行った。 児童の健全育成は極めて重要であり、児童を中心とした家庭・学校との連携を深め、犯罪・非行化防止を推進し「親子ふれあい映画会」を計画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭新入学児童祝金贈呈 9名 45,000円 ・ひとり親家庭親子食事券給付 36件 92,000円 ・母子福祉会運営費助成金交付 30,000円 ・親子ふれあい映画会参加者 116名 ・子ども遊び場遊具の保全 2ヶ所 60,000円
<p>5. 社会福祉教育の推進</p>	<p>社会福祉の基本理念を理解する手段としてジュニアボランティア講座（4回）を実施し、体験を通じて福祉の把握と認識を高め福祉教育全般にわたりその普及に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアボランティア講座 延参加者数44名 ・小学校総合学習における高齢者疑似体験指導 3校実施 ・小学校総合学習におけるボランティア指導 1校実施
<p>6. 会員組織の強化と財政の確立</p>	<p>社会福祉協議会の組織強化のため一戸一会員（一口800円）の会員制度を推進し、併せて会社・事業所などを対象とする特別会員制度（一口5,000円）の導入を図り、積極的に加入の勧奨に努めるよう計画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会員会費 3,312,800円（山木屋地区は募集中止） ・特別会員会費 1,208,000円（山木屋地区は募集中止）
<p>7. 各種募金運動への協力実施</p>	<p>各種募金を通じ福祉の関心を高めながら、思いやりのある、明るい町づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金実績 <ul style="list-style-type: none"> A募金（共同募金） 1,272,000円 B募金（次年度社協へ配分） 985,061円 C募金（歳末たすけあいへ充当） 1,008,127円 ・歳末たすけあい運動【自主事業】 <ul style="list-style-type: none"> 慰問金配分事業 1,206,000円（在宅603名） ・韓国共同募金会助成事業 <ul style="list-style-type: none"> 山木屋地区避難世帯訪問事業 47,360円（見舞品350件） 避難世帯交流会事業 100,525円（山木屋地区、浪江町） ・災害見舞金交付 1件 10,000円

8. 心配ごと相談所の運営	<p>複雑化する社会機構の中で、問題を抱える人々が増加しているため、毎週水曜日を定例日として相談員がこれにあたっている。</p> <p>相談の内容により、他の関係機関への紹介を行い、継続相談事案については継続相談にあたり、相談所の目的達成に努めた。</p> <p>また、年1回の弁護士による相談所を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員 1名 相談件数20件 ・弁護士相談件数 3件
9. 奉仕銀行の運営とボランティア活動の促進	<p>尊い善意の預託を受け、必要に応じ適切に払い出す預託口座の開設や、あらゆる人々の温かい心のつながりが町全体に広がることを期待して、ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動の輪を広げた。</p> <p>ボランティアセンターの活動としては、町民のボランティアに対する意識の向上を図り、活動を促進するために各種養成講座を開催した。また、ボランティアの団体には育成強化を図るために運営費の援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者数 1,871名 (団体20個人18) ・ボランティア団体運営費助成金交付 2団体 100,000円 ・災害ボランティア講座 22名 ・傾聴ボランティア講座 3回 延参加者数77名 ・ボランティア入門講座 8名 ・ボランティア交流会 20名
10. 社会福祉基金の造成と運用	<p>社会福祉協議会の組織強化と財政力を高めるため、一般町民の協力を得ながら基金の造成を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金総額 (平成27年3月31日現在) 40,907,371円 ・平成26年度分基金利息 15,938円
11. 居宅介護支援事業の実施	<p>介護保険による指定居宅介護支援事業を実施した。</p> <p>また、川俣町から委託を受けて要介護認定調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員 2名 ・ケアプラン作成 延954件 ・要介護認定調査 延108件
12. 居宅介護等事業の実施	<p>障害者自立支援法施行に伴い、要援護状態及び要支援状態にある身体障害者・知的障害者・児童・精神障害者に対し、ホームヘルプサービスを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者ホームヘルプサービス 10名 1,309時間
13. 保育所の経営	<p>別紙のとおり。</p>
14. 生活支援相談員の配置	<p>生活支援相談員を配置し、東日本大震災による被災者の生活復興支援のため応急仮設住宅、借上げ住宅等による見守り、相談、福祉制度等の情報提供、被災者を中心とした交流の場作り等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援相談員設置事業 <ul style="list-style-type: none"> 生活支援相談員 2名 訪問件数 延8,142件 相談件数8件 仮設住宅でのサロン開催 19回 延356名参加 町内借上げ住宅でのサロン開催 1回 15名参加 浪江町サロン開催 5回 延56名参加

<p>14. 生活支援相談員の配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者の訪問状況（平成27年3月31日現在） <ul style="list-style-type: none"> 農村広場仮設住宅 152件 体育館仮設住宅 35件 公営住宅 15件 民間借上住宅（川俣町内） 90件 民間借上住宅（福島市、二本松市他） 35件 <li style="text-align: right;">合計 327件 ・避難先社会福祉協議会としての訪問活動 <ul style="list-style-type: none"> 【浪江町】 <ul style="list-style-type: none"> 中山第1・第2仮設住宅 12件 民間借上住宅（川俣町内） 14件 <li style="text-align: right;">（合同訪問時は18件） 公営住宅 1件 <li style="text-align: right;">（合同訪問時は4件） 【南相馬市】 <ul style="list-style-type: none"> 中山第1仮設住宅 2件 【大熊町】 <ul style="list-style-type: none"> 民間借上住宅（川俣町内） 1件（11月に転居）
<p>15. 地域福祉活動計画の策定</p>	<p>本会の長期活動計画を定める地域福祉活動計画を平成26年度末までに策定するため、ヒアリングや策定委員会を開催し、計画を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体へのヒアリングの開催 3回開催 ・地域福祉活動計画策定委員会 2回開催 ・地域福祉活動計画の策定